

自転車利用実態定点調査報告

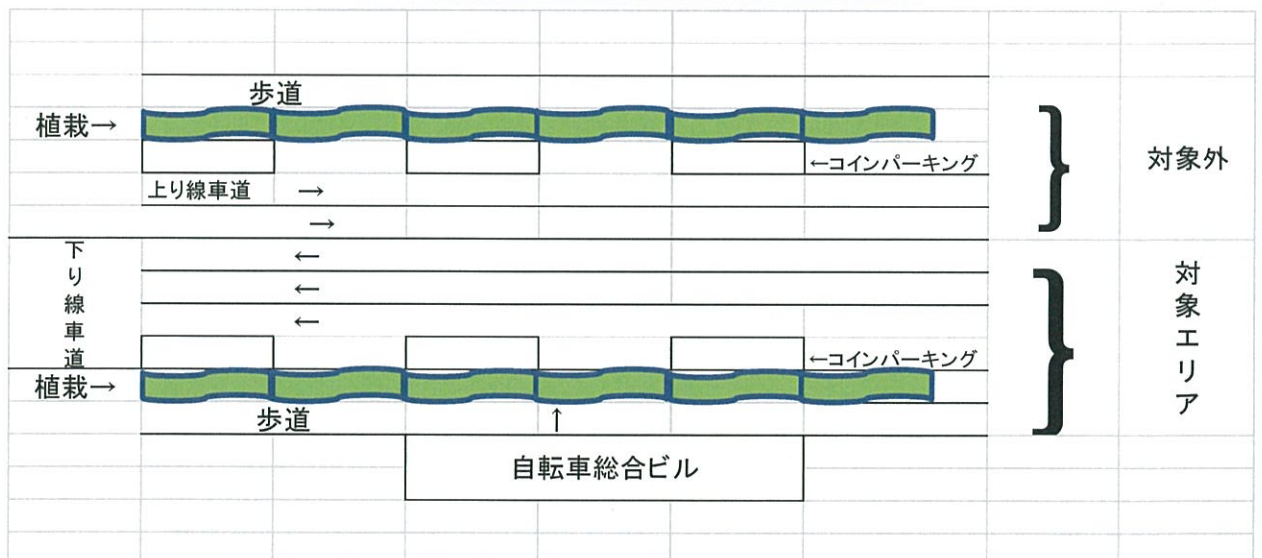
平成27年 9 月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年 8 月 3 日(月)～28 日(金)
[午前]9:00～10:00、[午後]13:30～14:30

- 調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）
- 概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3 車線[内側 1 車線駐車帯])
(歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3.5m)
- ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2 車線[内側 1 車線駐車帯]及び上り歩道)



調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間				車種		雨天		危険運転行為						
	車道左側	車道中央	歩道	歩道	子供用	電動	傘	雨衣	携帯無線	スピード出しすぎ	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドルに荷物	過積載	その他
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

調査日時：	平成	年	月	日	()
天気：					風速：
調査時間：			～		

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、5～35%と多岐にわたるが、平均すると16%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の8割程度を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(241件)・ハンドルに荷物(100件)・片手運転(82件/内2件は、携帯電話を使用しながらの運転)・立ち漕ぎ(38件)・過積載(31件)・脇見運転(26件)・子乗せ後部席に荷物(*1)(25件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(23件)・ジグザグ運転(17件)等の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、平成 27 年度第 5 回目の調査となり、4～8 月分の 5 カ月期間で様々な点で比較してみた。

- ・利用者別 夏季期間中であり、全体の利用者が増加した。
 今回も、午前が午後の利用者を上回った。

- ・左側車道走行率 今回(15.9%)は、5 カ月間中では下位で、4 月(18.9%)・5 月及び 6 月(17.9%)・7 月(17.3%)・8 月の順である。
 なお、午前のデータ(14.7%)も、5 カ月間中では下位で、4 月及び 6 月(20.6%)・5 月(19%)・7 月(18.4%)・8 月の順である。
 しかし、午後のデータ(17.5%)は、5 カ月間中では上位で、8 月・4 月及び 5 月(16.6%)・7 月(16.1%)・6 月(14.8%)の順である。

- ・子乗せ自転車 今回(13.9%)は、5 カ月間中では下位で、5 月(20%)・4 月(18.4%)・7 月(17.5%)・6 月(16.9%)・8 月の順である。

- ・電動自転車 今回(23.5%)は、5 カ月間中では下位で、5 月(27.1%)・4 月(26.5%)・7 月(25.7%)・6 月(23.9%)・8 月の順である。

- ・危険運転行為
(違反行為を含む) 上位 3 件別では、今回は、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] の順であり、期間中の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。
 一方、下位 3 件別では、今回は、[子乗せ後部席に荷物・歩道上でのスピードの出しすぎ・ジグザグ運転] の順であり、期間中の共通項目は、歩道上でのスピードの出しすぎである。
 なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(591 件)の 6 割弱(341 件)を占める形となった。
 (危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

今回は、新たな危険運転行為等は、発生していない。

本年 6 月に道路交通法が改正され自転車利用者にとっては、交通ルール・マナー等の遵守が徹底された経緯にも拘わらず、改正後の車道左側のデータについては、減少傾向であり、効果がないばかりか悪化している。

施行後、3ヶ月であり、依然として浸透性が薄いのか？

警察による指導が行われているのか？

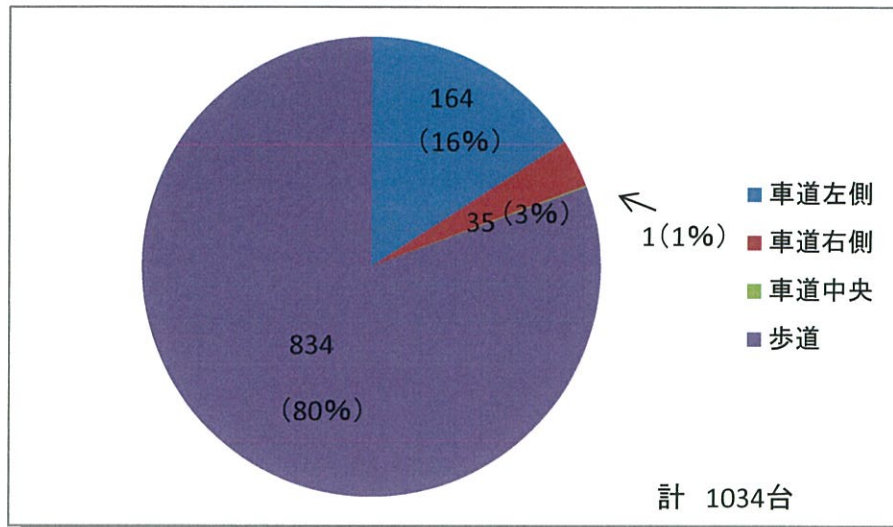
更なる指導の必要性が求められるものである。

今後の状況に期待したいが、本来、自転車事故等の抑制に繋がるはずだった法改正が、現状に、普及していない。

しかし、雨天時でのデータでは、効果が顕在化してきている。

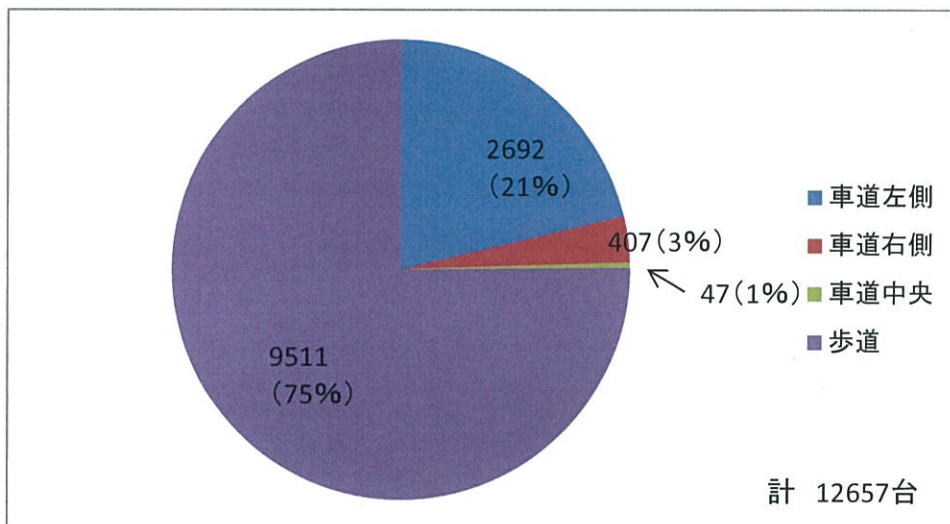
6月のデータでは、道路交通法が改正された初月でもあり、一部報道で合羽の購買額が増加した経緯もあり、4日間で、合羽着用者(計25人)は、傘さし運転者(計5人)の、5倍であった。

7月こそ、一旦減少[合羽着用者(計45人)は、傘さし運転者(計13人)の、約3.5倍/調査期間は、8日間]したが、今回8月のデータでは、6月のデータを上回り、合羽着用者(計24人)は、傘さし運転者(計4人)/調査期間は、4日で、6倍(調査開始以来で最高の水準)となり、雨天時における自転車利用者のマナーの向上に貢献している。

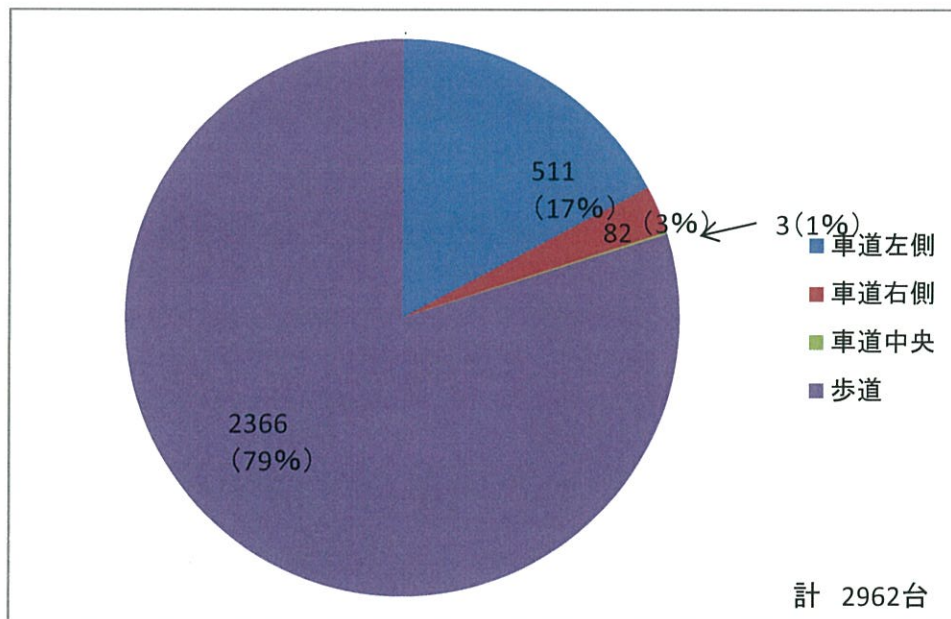


走行空間 調査期間 8/3~28

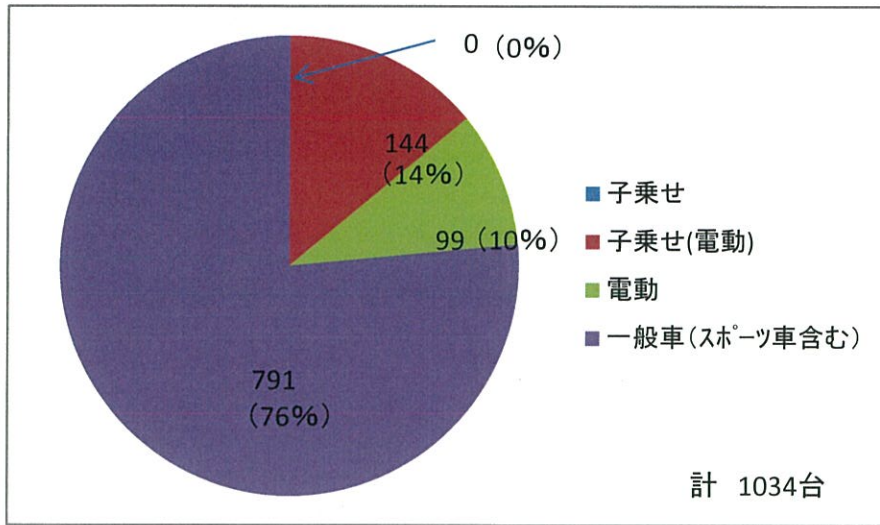
* 参考)



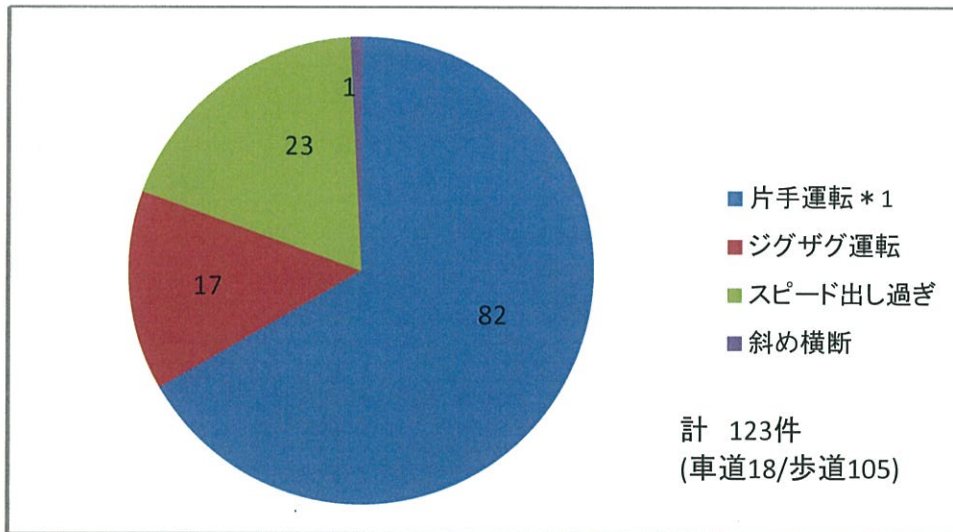
走行空間 調査期間 26.7~27.5(道路交通法改正前)



走行空間 調査期間 27.6~27.8(道路交通法改正後)

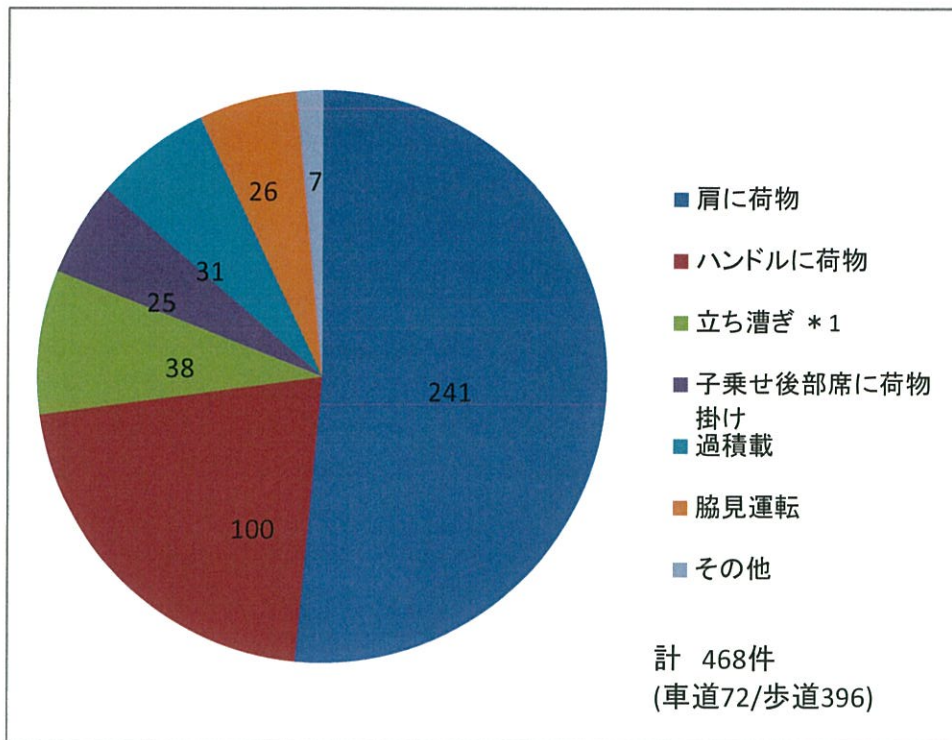


車 種 調査期間 8/3~28



違反運転行為 調査期間 8/3~28

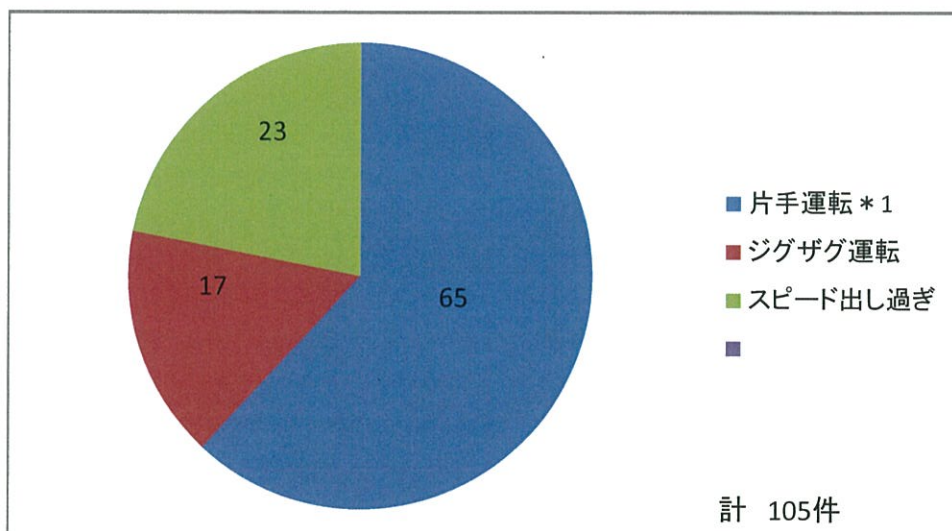
*1 内2件 携帯電話を使用中の運転



危険運転行為

調査期間 8/3～28

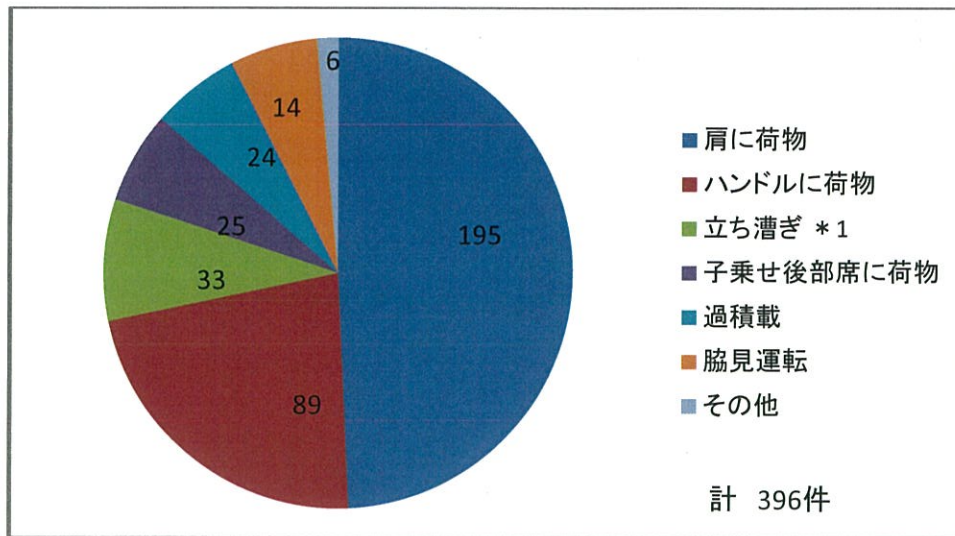
* 1 比率内訳: 上り坂34・下り坂4



違反運転行為
(歩道上)

調査期間 8/3～28

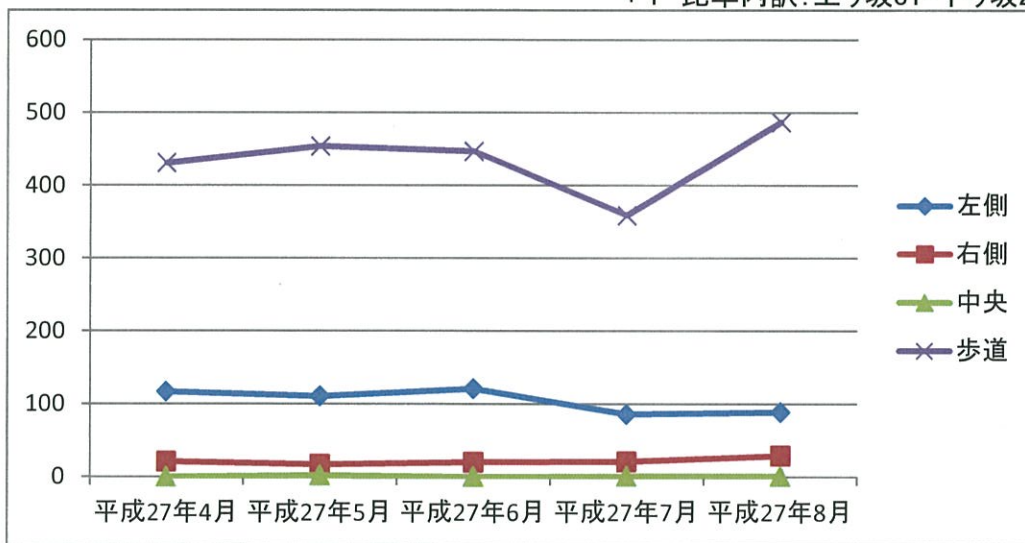
* 1 内1件 携帯電話を使用中の運転



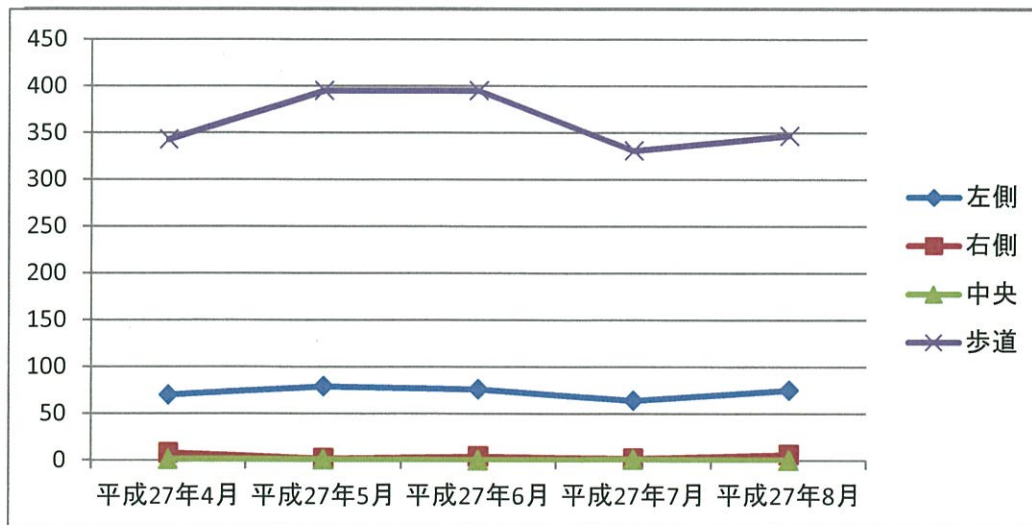
危険運転行為
(歩道上)

調査期間 8/3~28

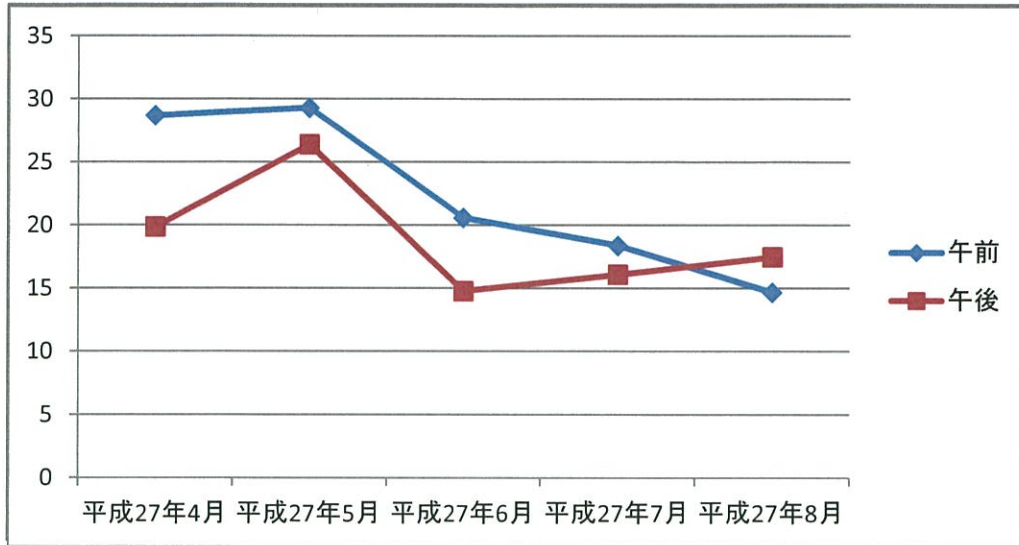
*1 比率内訳: 上り坂31・下り坂2



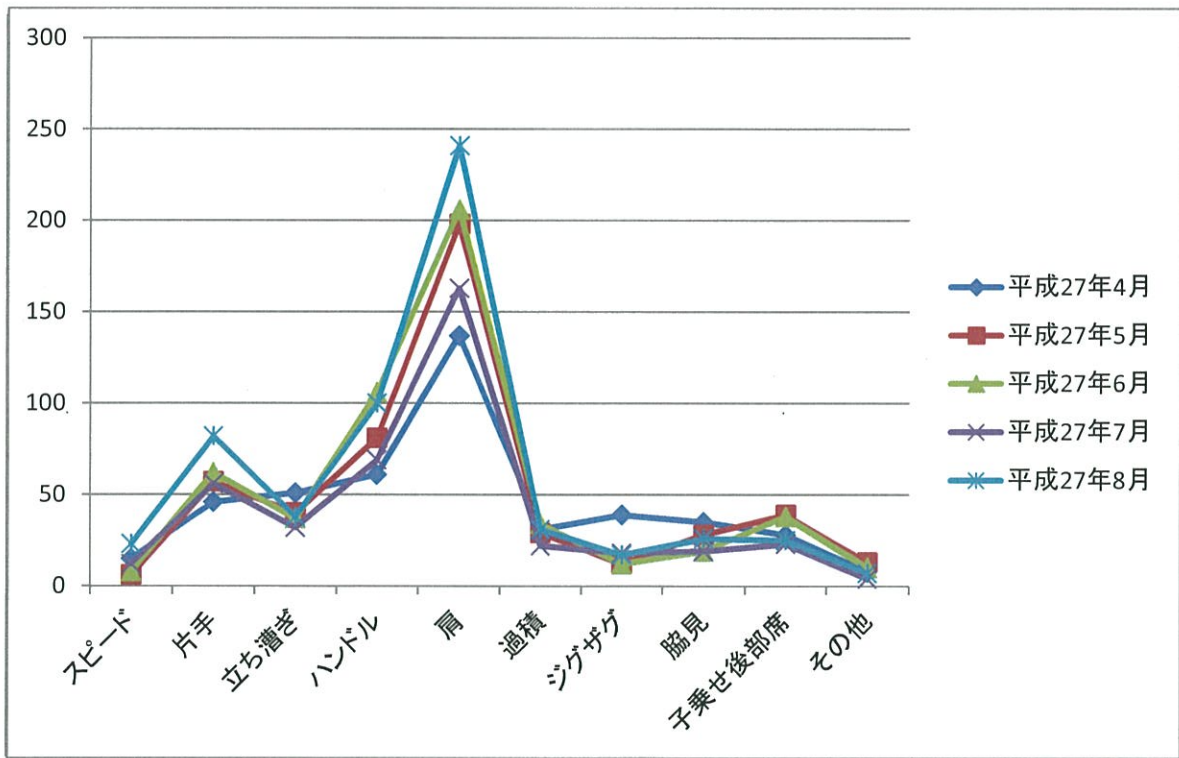
走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率 (%)



危険運転行為 (件数)